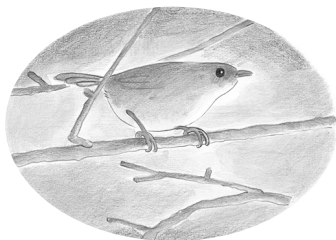


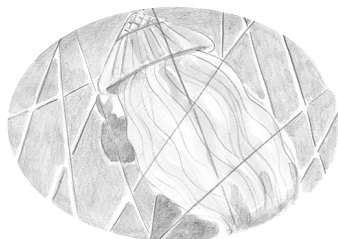


うぐいす もち ふん えん さき
鶯や 餅に糞する 縁の先



まつ お ばしょう
松尾芭蕉

はる さめ みの かさ
春雨や ものがたりゆく 蓑と傘



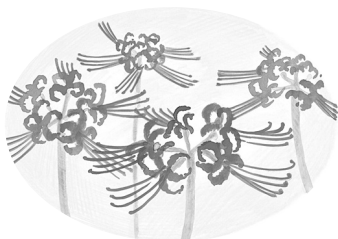
よ さ ふ そんな
与謝蕪村

すずめ こ おん ま とお
雀の子 そのけそのけ 御馬が通る



こ ばやし いっ さ
小林一茶

まい とし ひ がん い さむ
毎年よ 彼岸の入りに 寒いのは

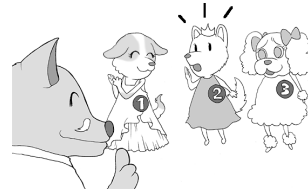


まさ おか し き
正岡子規



きゅうてん ちょっ か
急転直下

けい せい きゅう か
形勢が急に変わることに。



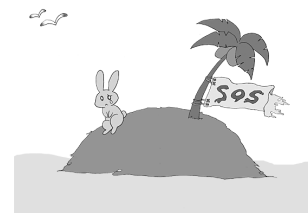
こうめい せいだい
公明正大

やましいところがなく、せい せい どう どう
正々堂々としていること。



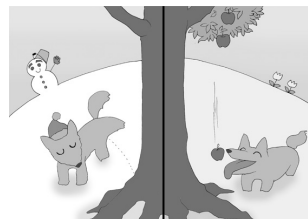
こ りつ む えん
孤立無援

どこからもまったく たす え
助けが得られないこと。



じ きゅう じ そく
自給自足

ひつ よう
必要なものを じ ぶん
自分でまかなうこと。





《基本的人権のうた》

自由権 国の制約を 受けない 権利です

平等権 不合理な差別を 受けない 権利です

社会権 生活の保障を 求める 権利です

参政権 国民が政治に 参加する 権利です

請求権 救済求め 裁判受ける 権利です

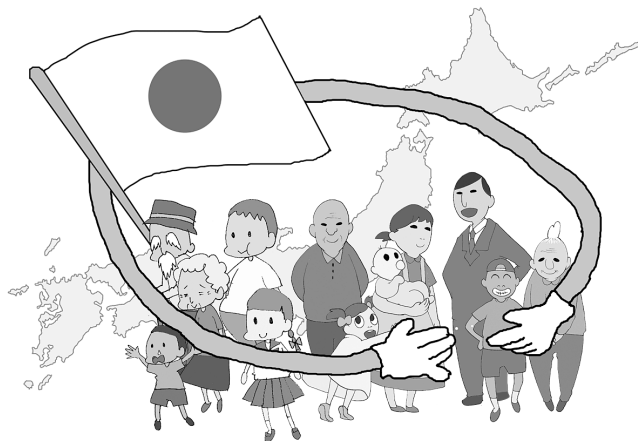
基本的人権のポイントは 自由 平等 社会 参政 請求権

他にも環境権 知る権利 プライバシーの権利など

国民は みんなみんな 守られる

公共の福祉に反しない限り

守られる 守られる





た いた みず
立て板に水

弁舌が滑らかで、よどみがないこと。



しゅ まじ あか
朱に交われば赤くなる

人はつきあう相手次第で良くも悪くもなる。



たい がん か じ
対岸の火事

自分には関係がない出来事で、少しも危機感を
感じないこと。



いっ すん さき やみ
一寸先は闇

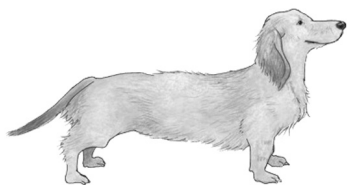
ちょっと先のことはまったく予測できないこと。



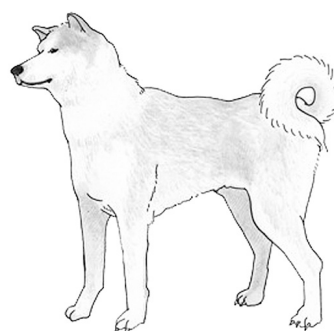
ぬ て あわ
濡れ手で粟

たいした苦勞をせずに、利益をえること。





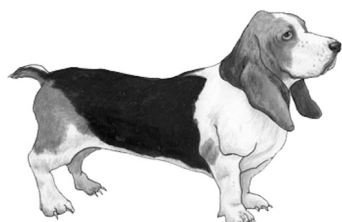
ダックスフント



あき たいぬ
秋田犬



ドーベルマン



バセットハウンド



山^{やま}里^{さと}は
冬^{ふゆ}ぞ
人^{ひと}目^めも草^{くさ}も
寂^{さび}しき
まさりける
かれぬと思^{おも}へば^え

(源^{みなもと}宗^{のむね}于^ゆ朝^あ臣^{そん})

みかの原^{はら}
わきて流^{なが}る
いつ見^みきとてか
いづみ
恋^{こい}しかるらむ^ん

(中^{ちゅう}納^な言^{ごん}兼^{かね}輔^{すけ})

